

自由な校風で、先生が熱い 小松崎 涼太	早稲田大学 先進理工学部 化学・生命科学学科 茨城大学教育学部附属中学校 卒業
私立学校で異動が少ないため、茨城高校の生徒の傾向を基に授業をしていただき、一人一人に的確な進路指導をしてくれます。高入生は一貫生と比べ高校のカリキュラムを進めるスピードが遅く大学受験に向けて焦り、現役合格は難しいと考える人が少なくないですが授業をしっかり聞き、予習復習を怠らないことで確実に実力は伸びていきます。 また、放課後や長期休暇中の課外でも先生が熱心に要点や弱点となる部分を熱心に教えてくださいます。そのため素晴らしい復習ができます。英語を使うプログラムも充実しておりグローバルになる社会に通用できるような能力が身に付きます。私は、野球応援委員でした。3年間野球部の夏の大会を応援する中心として野球部と同じぐらいの熱を持って仲間たちと踊りをしたり、応援の呼びかけをしたりしてきました。私は、人を支えることの大変さ、大切さを知り、一つの目標に向かって突き進むことで生まれる達成感を得ることができました。先輩や、後輩と創り上げた応援の踊りは僕の3年間の中の輝かしい思い出であり、この活動を通していろいろな人と関わり、絆が生まれたと思います。 研修旅行ではカナダに行きました。ホームステイをすることで家庭の文化、地域の文化を味わうことができ感動しました。また、外国語でのコミュニケーションスキルも上がり研修旅行が終わるころにはしっかり話せてもっとカナダにいたいという気持ちが強くなりました。進路指導がいいという話を兄が茨城高校だった友達から聞いていたので県立高校を落ちた時、茨城高校に進学しようと思いました。県立高校と同様自由といわれていますが、先生の熱が違うと思っています。現役合格するために何をしたらよいかという部分を的確に教えてくださいました。それは、勉強の仕方だけでなく、数多くある入試をうまく活用する方法や、ちょっとした勉強以外での悩みに対しても真摯に受け止めアドバイスをいただきました。 今となっては、進学したのが茨城高校でよかったと感じています。部活や応援委員で一貫生と関わることはありましたがごく一部でしたから高校三年生でクラスが初めて一緒になるときは緊張しました。しかし、フレンドリーな人が多かったり、知り合いの友達ということもあったりしたので意外と話せました。また僕の場合、小学生のとき通っていた塾で知り合った人が少なくなかったので、初めから話せる人もそれなりにいました。	

充実した3年間 H. K.	東北大学 工学部 電気情報物理工学科 笠間市立友部中学校 卒業
授業では、予習復習をしっかりして授業を受けることが大切です。 3年間を通じて受験勉強をしていたという印象の高校生活であったが受験を通じて課題に取り組む姿勢やその他諸々の今後役立つであろう精神力を獲得できた点で、充実し、満足のできる3年間であったと思います。 茨城高校の良いところは、受験を支える体制が整っているところです。中学時代の担任の勧めもあって選びましたが、進学してみて良かったと感じています。 大学進学後も、学び続ける志は持ち続けていきたいです。	